



— 展示解説員が博物館の見どころを紹介します —

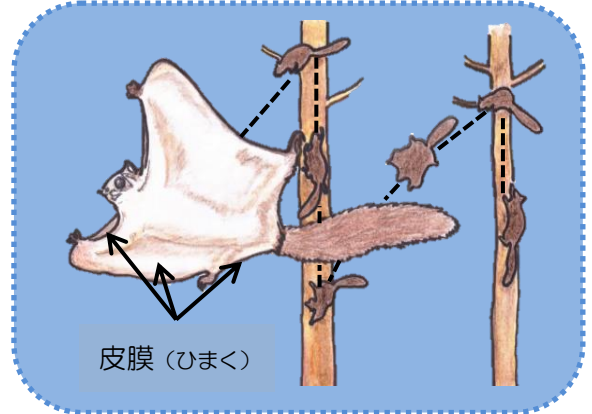
ムササビに出会ったことがありますか？

博物館のキャラクター「ムーちゃん」は、ムササビをモデルにしています。

ムササビはリスの仲間で、本州から九州に生息し、神社などの大木のある森林から標高 1,800m くらいまでの森林に住んでいます。めったに地上に降りず木の上で生活しており、木から木に移動する際は、前足と後ろ足の間にある膜(まく)を広げ滑空(かっくう)します。その姿は、見た目も大きさも座布団のようです。

自然史展示室の入口には「ムササビ」のはく製を展示しています。展示室では、ムササビの他にも多くの動物を展示していますが、これらは、病気や事故で亡くなった動物を使用しています。実物大の姿を直接観察できる貴重な資料となっています。

博物館に来られた際は、是非、動物の真の姿を観察してください。



滑空(かっくう)のようす

収蔵庫の役目

化石、はく製、標本、歴史や文化を伝えてくれる「もの」を博物館では「資料」とよびます。

資料は展示や調査・研究に活用したり、他の博物館に貸し出すこともあり、博物館の活動には欠かせない大切なものです。傷めないように適切な環境で守っていかねばなりません。

また、整理・保管しておかないと必要な資料がどこにあるかわからなくなってしまうます。それらの大切な資料を保管するための部屋が収蔵庫です。

収蔵庫は中に入ると部門ごとに部屋が分かれており、それぞれの資料に合った環境にすることで、より長く今の状態を保つことができます。

このように博物館では、大切な資料を未来に残すために努力と工夫を重ねています。



動物収蔵庫



地質収蔵庫

クイズに挑戦!



博物館には座って映像を見ることのできるシアターが3つあります。さて、ジオ博士が出てくるのはどのシアターでしょうか？

- ① 照葉樹林シアター ② 地球シアター
③ 神楽シアター



こたえ ②

ジオ博士は子ども向けプログラム「宮崎地質探検隊」で、宮崎の地形の成りたちを分かりやすく解説してくれます。